

第3学年O組 社会科学習指導案

令和3年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

1 単 元 私たちと国際社会

2 単元の見方・考え方

- (1) 領土と国家主権、国際連合の働きなどの基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割の大切さについて理解するとともに、国家の主権や国際協調に関する様々な諸資料から情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義、SDGs達成に向けた取組などを基に、対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性といった見方・考え方を生かしながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- (3) 私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題や解決方法を考える活動を通して、主体的に社会に関わろうとする。

3 学習の計画 (15時間完了)

- | | | |
|-----|----------|-----------------------------------|
| 第1次 | 第1時 | 単元の見方・考え方を捉え、学習問題をつかむ。 |
| 第2次 | 第2時～第7時 | 国家と国際社会について調べる。 |
| | 第8時～第10時 | 平和な世界を目指すための取組と日本の役割について調べる。 |
| | 第11時 | 発展途上国の現状と多様化する世界の様子について考える。 |
| | 第12時 | 限りある資源とエネルギーについて調べる。 |
| | 第13時 | 地球規模の環境問題と国際協力について考える。 |
| | 第14時 | 持続可能な社会をつくるための取組について考える。 |
| 第3次 | 第15時(本時) | 単元の学習を生かし、地球温暖化に対する政策について考え、話し合う。 |

4 本時の学習指導

- (1) 目 標
 - 地球温暖化対策としてふさわしい政策について、多面的・多角的に考えることができる。
- (2) 準備・資料
 - 生徒……色ペン(3色)
 - 教師……ワークシート
- (3) 関 連

3年 社会 私たちと現代社会(現代社会の見方・考え方について考える)
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項
つ か む	<p>1 単元の学習を振り返り、本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) 単元の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会を実現するためにできる取組について考えた。 ・持続可能な社会を実現するためには、国際協調が大切だ。 <p>(2) 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地球温暖化に対する政策について考えよう。</p> </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ノートを見直させ、前時までの学習を確認させる。 ○公民の学習で学んできた見方・考え方にはどのようなものがあったかを想起させる。 ○これまでに学習した見方・考え方を生かし、持続可能な社会の実現に向けて考えたことを話し合うことを伝える。

追究する	2 各党の政策を評価し、比較する。 (1) 教科書に例示されている架空の党の政策について知る。 (2) 判断基準を基に、各党の政策を評価する。 ・キラキラ環境党の政策は、温暖化対策を重視しているが、原子力発電所の再稼働については安全性が疑問視される。 (3) 各党の政策を比較し、支持政党を仮決定する。 ・国内経済の発展を重視したいし、日本よりもGDPあたりの二酸化炭素排出量が多い国はたくさんあるという主張に納得したので、私はニコニコ経済党を支持する。	25	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの党が掲げる主張や、主張の内容がどの見方・考え方に当てはまるかに着目するよう伝える。 ○判断基準の例の中から、自分が重視するものを五つ選んでレーダーチャートに記入させる。 ○選んだ基準に則って各党の政策を評価させ、レーダーチャートに色分けして記入させる。 ○各政党の政策について、効率と公正の見方・考え方に基づいて比較させる。 ○レーダーチャートの点数を参考にさせ、根拠を明確にした上で現時点での支持政党を決定させる。 <p>評見方・考え方を活用し、根拠を明確にして支持政党を決めている。 (ワークシート)</p>
	3 評価した内容について話し合う。 ○見方・考え方や他者の視点の提供に着目して、考えを話し合う。 ・ニコニコ経済党は国際協調を軽視して公正さに欠け、国と国との対立が深まるのではないか。	38	<ul style="list-style-type: none"> ○自分と似た考えと異なる考えを色分けしてメモを取らせる。 ○お互いに持ち寄ったレーダーチャートを見比べさせることで、考えの類似点や相違点に着目して話し合わせる。
	4 本時の学習を振り返り、まとめる。 (1) 話し合いを基に、最終判断を行う。 ・私はワクワク協調党を支持する。なぜなら、大きな事故を起こした原子力発電所は廃止すべきだと思うし、日本国内のCO ₂ 排出量を減らす代わりに日本の環境技術を発展途上国に提供することで、国際協調を行いながら世界全体のCO ₂ 排出量を減らすことができると考えるからである。 (2) 本時の振り返りを書く。	50	<ul style="list-style-type: none"> ○最初の自分の考えに固執するのではなく、他者の考えも踏まえた上で多面的・多角的に考えて判断することが大切であることを伝える。 ○多面的とは見方・考え方や判断基準の例から考えることを、多角的とは日本と他国の立場から考えることを意味していることを伝える。

(5) 本時の評価基準

- 地球温暖化に対する政策について、見方・考え方や判断基準の例（多面的）と日本と他国の立場（多角的）の両方の内容を踏まえて考えをまとめている。（ワークシート）

5 備考

(1) 学級の実態

- 活発に活動に取り組んだり、発言をしたりすることができる生徒が多い。一方で他者の意見を取り入れたり、認め合ったりすることを苦手とする様子が見られる。

(2) 指導の力点

- 学習課題についてより多面的・多角的に考えることができるようにするため、思考の内容をレーダーチャートを用いて視覚化し、自他の考えの類似・相違に着目しやすくした。

6 指導と評価